

被災地方言会話集

— 宮城県牡鹿郡女川町 —

<自由会話>

自由会話の概要

収録地点	宮城県牡鹿郡女川町			
収録日時	2012（平成 24）年 7 月 13 日			
収録場所	宮城県牡鹿郡女川町女川浜大原 ふれあいオレンジハウス			
話題	【地域の文化のこと】			
話者				
A	女	1932（昭和 7）年	（収録時 80 歳）	[Bの知人]
B	男	1946（昭和 21）年	（収録時 66 歳）	[Aの知人]
C	男	1977（昭和 52）年	（収録時 34 歳）	[調査者 1]
D	女	1988（昭和 63）年	（収録時 24 歳）	[調査者 2]
話者出身地				
A	女川町尾浦（オウラ）			
B	女川町女川浜（オナガワハマ）			

【地域の文化のこと】

話し手

A	女	1932 (昭和 7) 年	(収録時 80 歳)	
B	男	1946 (昭和 21) 年	(収録時 66 歳)	
C	男	1977 (昭和 52) 年	(収録時 34 歳)	[調査者 1]
D	女	1988 (昭和 63) 年	(収録時 24 歳)	[調査者 2]

001C : エーットー。ドーデスカネ、チーキノ デントーブンカミタイナノワ。
えーと。 どうですかね、地域の 伝統文化みたいなのは。

アー、イマノ タイコミタイノワ コノヘンノ ヤツ (A エッ) デスカ。
あー、今の 太鼓みたいなのは この辺の やつ (A えっ) ですか？

タイコ、ヤッテタノワ。コドモタチガ ヤッテタ タイコッテユーノワ、
太鼓、 やってたのは。子どもたちが やってた 太鼓っていうのは、

(A ンー) コノヘンノ ナンカ マツリカ ノ ナンカ
(A んー) この辺の なんか 祭りか × なんか

002A : ンー ツカウヨ。
うん 使うよ。

003B : アー。
ああ。

004A : ンー。アドホラ、ソズギョーシギ トガ ツカウネー。 (C ンー)
うん。あとほら、卒業式 [に] とか 使うねー。 (C うんうん)

005B : ンー、アドー、(A ウン) アレ、ミナドマズリ ドガサー。(A ンー)
うーん、あと、(A うん) あれ、港祭り とかさ。(A うん)

イマワ ホレ、ツナミイコーワ、アノー ヤンネーケドモサー。アドホレ、
今は ほら、津波以降は、 あのー やらないけどもさ。 あとほら、

ス アギノ サンマ シューカクサイドガサ、 (A シューカクサイ)
× 秋の サンマ 収穫祭とかさ、 (A 収穫祭)

ソーユーノデモネ、シー、ヤッターリスルワゲサ。
そういうのでもね、んー、やったりするわけさ。

006C : ンーンーンー。
うんうんうん。

007B : マー、フツーノ デントーゲーノーワ デントー ゲ ゲーノッテノモ アルヨ。
まあ、普通の 伝統芸能は 伝統 × 芸能ってのも あるよ。

アノ、オショーカ° ズニワ、ススフリ [1] ッテユー。シシマイネ、
あの、お正月には、 ススフリ っていう。獅子舞ね、

(C ンー) ススフリッテ。カグイッケン マワッテ アルイダダ。
(C んー) ススフリって。各一軒 回って あるいたんだ。

008A : インダ、 ススフリデ インダガラネ。
いいんだ、ススフリで いいんだからね。

009C : ンー、イーデス (A ンー) イーデス。ワカンナカッタラ (A ソダ)
うん、いいです (A うん) いいです。わからなかったら (A そうだ)

アトデ (B ンー、ンー) コチラカラ キキマスノデ。
あとで (B うん、うん) こちらから 訊きますので。

010A : ススフリダガラ ススフリデーガラ。 {笑}
ススフリだから ススフリでいいから。 {笑}

011C : マ、ナンカソソナ、オハナシオ (A ンー) (B ンー) フタリデ
ま、なんかそんな、お話を (A うん) (B うん) 二人で

シテイタダケレバ。 (B ンー) コーユーノ アッタトカ。
していただければ。 (B うん) こういうの あったとか。

女川町 自由会話

012A : ムガシ アン ナマゴシギ [2] ツツーノモ アッタオンネー。
昔 あの ナマコ引き っていうのも あったよね。

013B : オラ ワガンネーナ。
俺 わからないな。

014A : アー ホントー。
ああ 本当。

015B : ウン。
うん。

016A : ナマゴ アノー ナワサ ツナイデ ヒッパッテ アルゲンダデバー。
ナマコ あの 縄に つないで 引っ張って 歩くんだよ。

017B : アーアー。 (A ンー、ホッテ アンタ) ホー、ホイズワナニナニ、
ああ。 (A うん、それで あんた) そう、それは何、

ドゴデシタノスカ。
どこでしたんですか。

018A : オウラアダリ ドゴ ヤッテル。
尾浦あたり[の] ところ[で] やってる。

019B : アー、オラワ、オラ ワガンネーナー。
ああ、俺は、俺 わからないなあ。

020A : ナーマゴシーギ オンドリダー [3] ノ (B アーアー)
「ナマコ引き お通りだ × (B ああ)

ナーカ° ムーシ ヨーゲロ ッテナンダー。 {笑}
長虫 よける」 ってなるんだ。 {笑}

021B : ウーン、オラ ワガンネー。
うーん、俺 わからない。

022A : アド、カラスボイ [4] ツツーノ、アツタンデネガ。
あと、カラス追い っていうの、あつたんじゃないか？

023B : ア、カラスボイ アルヨ。
あ、カラス追い あるよ。

024A : シー。(B ウン) フネノ ヘサギサ アレ、ダンコ°、(B シー) ソナエデ。
うん。(B うん) 船の 舳先に あれ、団子、(B うん) 供えて。

ホッテ、アノ アレ、ナンダ アイズ。ゴヘーミダイナノワ。(B ウン)
それで、あの あれ、なんだ あれ。御幣みたいなのは。(B うん)

アイズ ツケデネ、(B ウン) ポーウンダワ、カラス。
あれ[を] つけてね、(B うん) 追うんだわ、カラス。

025B : アイズ オワッタラー (A イマ ネグナッタモン) イマ ホレ アノ
あれ 終わったら (A 今 なくなったもの) 今 ほら あの

(A シー、ホイナノ ネグナッタ) ムガシガラ (A シー) デ デントーー、
(A うん、そんなの なくなった) 昔から (A うん) × 伝統、

ツテガサ、ホイナノ ネグナッタナ。
っていうかき、そんなの なくなったな。

026A : シー。
うん。

027B : シー、ヤツタリ ヤツタリ (A ホントニ) シェバ ミコ° ドニ
うん、やったり やったり (A 本当に) すれば 見事に

028A : ショーワ アンダ ショチアダリ アッタゲットモ、イマ ネグナッタオン、
昭和 あんた 初期あたり あつたけども、今 なくなったもの、

ソイナノ。ンナノ ナツカシーヨネー。
そんなの。そんなの 懐かしいよねえ。

女川町 自由会話

029B : ウン。
うん。

030A : アド、カシエドリ [5] アッタイッチャ。カシエドリ ネガッタノワ。
あと、カセドリ あったよね。 カセドリ なかったの？

031B : ナニ、カシエドリッテ。
何、カセドリって。

032A : ナンダー、ヒョーシキ° タダイデ アンダー。
なんだ、拍子木 叩いて あんた。

ホッテ アンダ、イッケンイッケン モラッテアルイテダンダヨ、ユドモダズ。
それで あんた、一軒一軒 もらって歩いてたんだよ、子供たち。

033B : アー、ワガンネ。
ああ、わからない。

034A : アー、ホント。
ああ、本当。

035B : ン。
うん。

036A : ウン。
うん。

037A : イマ ホイナノンナノ ネグナッタ。
今 そんなようなの なくなった。

038B : アドワ ハルニナレバ、ボンマズリ、(A ン) ダナー。ミゴシ、オ、
あとは 春になれば、盆祭り、(A うん) だなあ。神輿、を、

カズイデサ。ヤッテイク°、ン、ン、オミコシジュンコーッテ ユノガナ。
担いでさ。やっていく、ん、ん、お神輿巡行って いうのかな。

039A : シー、アド ミナドマズリ アノ
うん、あと 港祭りの あの

040B : マー ミ ミナドマズリワネー、(A ア アイズゴドネー シー) ホイズワ、
まあ × 港祭りはね 、(A × あれをね うん) そいつは、

アドガラ デキタケトモ マー、コゴノ、ムガスカラノ
あとから 出来たけども まあ、ここの、昔からの

デントーギョージッテイエバ、ススフリド、オミゴシカズキ° ダナー。
伝統行事っていえば、 ススフリと、お神輿担ぎだなあ。

041A : ウウーン。
うん。

042B : シー。
うん。

043B : ムガスワ スコ° ガッタンデネーノガナー、センサーカ° エリノ
昔は すごかったんじゃないのかなあ、戦争帰りの

ストダズダノカ°
人たちなどが

044A : ダッテ、ムガス ナンニモ アスブモノネーガラ、ホイダノ
だって、昔 なんにも 遊ぶものないから、 そんなの[が]

タノシミナンダモンネー。
楽しみなんだものね。

045B : シー。
うん。

046A : ウン。
うん。

047B : コレ モット
これ もっと

048A : イマミテーニ ハイッカラデネーモノ、アンタ。
今みたいに ハイカラじゃないもの、あんた。

049B : サゲ スー (A ンー) サゲ サゲ ノムズノモ ホイナ
酒 ×× (A うん) 酒 酒[を]飲むというのも そんな

オショーカ° ズドガ オマズリデネゲァ ノマエネーガラサ、(A ノマエネ
お正月とか お祭りでなければ 飲めないからさ、(A 飲めない

ノマエネ) ケンカバリ ステンダー。ンダガラ、ショツチュー。
飲めない) 喧嘩ばかり してるんだ。だから、しょっちゅう。

050A : フロダッテ ヘアーレネーベシネアー。
風呂だって 入れないだろうしね。

051B : {笑} フロワ、(A ンー) フロワ ヘッタノワ ヘッタンダヨ。
{笑} 風呂は、(A うん) 風呂は 入ったのは 入ったんだよ。

052A : ンー。
うん。

053B : アノー
あの一

054A : チノフロ。
木の風呂。

055B : ドロマツカンダー、オラノ。
ドラム缶だ、俺の。

056A : アー、キノフロダデバ。
ああ、木の風呂だよ。

057B : ホー、マダ イッチャ。

ほう、まだ いいじゃないか。

058A : ウン、チノフロデネー。

うん、木の風呂でね。

059B : ドラムカンダ、オラ ハイッタノ。

ドラム缶だ、俺[が] 入ったの。

060A : ホーヤッテ ハヤグ オユサ ハイレヨー、

そうやって 早く お湯に 入れよ、

サメッカラ ヘーレヨ ヘーレヨッテ {笑}

冷めるから 入れよ 入れよって {笑}

061B : タダ、アイナノッテノワ フロサ ヘッタッテガー、

ただ、あんなのっていうのは 風呂に 入ったっていうか、

ドラムカンダドサー、テツダガラサー、アッチャ [6]、ドラムカン。

ドラム缶だとき、鉄だからさ、あるだろ？、ドラム缶。

062A : ドラムカン ワガル。アノ アニブラ (B シー) イレル、アレ。

ドラム缶 わかる？ あの 油 (B うん) 入れる、あれ。

ドラム。(B シー) ネ。アイズ。[6]

ドラム。(B うん) ね？ あれ。

063B : アノー、カダホーノ フタダゲ トッテサ。アドー、ミズ イレデ。

あの、片方の 蓋だけ 取ってさ。あと、水 入れて。

ワガスチャ。タラ ハイッドギモサ、キノ、ワグオ シタサ

わかすだる？ [そし]たら 入るときもさ、木の、枠を 下に

コヤッ スズメルワゲサ。アツイガラ。ホヤッテ タダ アド

こうやって 沈めるわけさ。熱いから。そうやって ただ あと

女川町 自由会話

コ コワダ コノママダ。

× ××× このままだ。

064A : ンー、ダヨネ。

うん、だよね。

065B : ウン、サワライネーガラ。(A ンー) アダリサ。タダ ハイッタッテ

うん、触れないから。(A うん) 辺りに。ただ 入ったって

ユーダゲダヨ。(D ンー) ンー、コスルモナニモ デギネンダー、アイナノ。

いうだけだよ。(D うん) うん、擦るも何も できないんだ、あんなの。

066A : ムガシ キノフロダドサー、

昔 木の風呂だとさ、

067B : マー ゴエンブロードガネ、(A ウン、アイッタモノ) テッポ

まあ 五右衛門風呂とかね、(A うん、ああいったもの) テッポ

テッポーブロッテユーノ アッタケドモサー。

鉄砲風呂っていうの あったけどもさ。

068A : シノコ アンガッテ スッカリ カミモナニモ アンダ シノコダ

火の粉[が] 上がって すっかり 髪も何も あんた 火の粉だ

アンタ。シログナンダモノ。{笑}

あんた。白くなるんだもの。{笑}

069B : ンダー、イズ イズバン シデッテガー、アノ、スイドー (A イマ)

だから、いち 一番 ひどいっていうか、あの、水道 (A 今)

ツツーノネガッタガラサー、(A ウン) テッカン [7] ダオン。

っていうのなかったからさ、(A うん) テッカン だもの。

070A : オラホデ インド。

うちのほうで[は] 井戸。

071B : テッカン、テッカンッテノ ワガル。(A) テッカン。
テッカン、テッカンっていうの わかる? (A) テッカン。

アノー、パイプササ、パイプオー、(A アレ ガチャガチャガッチャ [8])
あの、パイプにさ、パイプを、(A あれ、ガチャガチャガッチャ)

ツズノナガサー、イエ、アノー、サステヤッテ。アド アレ、ヨグ
土の中に、 入れ、あの、 刺してやって。あと あれ、よく

テレビデヤッテ、コーヤッテ ヤッテル、ミズ デテクル、(A ウンウン)
テレビでやって、こうやって やってる、水[が]出てくる、(A うんうん)

アイズオー、ソヤッテ ヤッテアワゲサ、テッカン。 [6]
あれを、 そうやって やってたわけさ、テッカン。

ホイデアガラー、ソドニ アッカラサー、フロモ、タダ コユヨーナ
それだから、 外に あるからさ、 風呂も、ただ こういうような

アノー、ホッタデ ゴ コ° ヤカ° アッカラサー、ソドニ
あの、 ほったて × 小屋が あるからさ、 外に

アッカラサー。ダラ コンドー アツグナッテモサ、ソレデモッテ
あるからさ。 だから 今度 熱くなってもさ、 それでもって

コンド、マッパダガデサ、アノー {笑} ミズクミスレア イーダゲダガラ、
今度、 真っ裸でさ、 あの {笑} 水汲みすれば いいだけだから、

バゲズ モッテイッテ。サンブーベスサ。
バケツ[を] 持って行って。寒いだろうしさ。

072A : ミズ ネゲレバ ユジオ イレダリネ。
水[が] なければ 雪を 入れたりね。

073B : シーーーーー。
うんうん。

074A : ウン。
うん。

075B : ホナコド シテアナ。(A ナ) オラノ ジダイワダヨ。
そんなこと していたな。(A な) 俺の 時代はだよ。

デンキワ アイズダモノ、ニショコ [9] ダモン。アレ、コイズバリ
電気は あれだもの、ニショコ だもの。ほら、これぐらい

チャッカー コイナノオサ、ウズンナガガラ ヒッパッテキテサ。
小さい こんなのをさ、うちの中から 引っ張ってきてさ。

076A : アレ、デンキノ カサ。ア アノ ウン
あれ、電気の かさ。あ あの うん

077B : ニショコッテ ニジューワットヨリモ マダ、アノー、ゴワットク° ライガ、
ニショコッて 20ワットよりも まだ、あの、5ワットぐらいか、

アイズ。ニショコ トカッツノワ。
あれ。ニショコ とかっているのは。

078A : ログジューワットク° ライダッチャ、ニンジューシ
60ワットぐらいだろ、 // // // //

079B : アー、ホンナン スカンネッチャ。
えー、そんなに 光らないだろ。

080A : コイナノ。
こういうの?

081B : コイナ、コイノ ヤズダヨー
こんな、こんな やつだよ。

082A : ンー
んー。

083B : アノ、フロダヨ。
あの、風呂だよ。

084A : ア、フロ。
あ、風呂。

085B : フロ。
風呂。

086A : ンダンダンダ。
そうそうそう。

087B : ン、ンデネゲー、 (A ウンウン) ローソグダッチャー。
うん、そうじゃなければ (A うんうん) 蠟燭だろ。

088A : ネナガナガ アンタ。ハダカデンキ (B ウン) ダオンネー。ムガシワ。
//////// あんた。裸電気 (B うん) だもんね。昔は。

089B : マ、ソイナ、セーカツダッタナ。ンダッチャ、シューセンコ° ナラ
ま、そんな、生活だったなあ。 そうだろ、 終戦後なら

ナニモ (A イマナンカ テンコ° グダ) ネーガラサー。
何も (A 今なんか 天国だ) ないからさ。

090A : ウン、ムガスサ クランベダラ。
うん、 昔に 比べたら。

091B : オラダッテ アノー
俺だって あの

092A : ゼーニタクダ。ンダイナ クロースタリ ナンナノ、ナンボデモ
贅沢だ。 そんなような 苦勞したり 何だの、 いくらでも

アンタ、 (B ウン) タエラレル。
あんた、 (B うん) 耐えられる。

093 B : コズゲーッテノモ ゴエンダモンナ。オラノジダイ。アドー、サゲ シト
小遣いってのも 五円だもんな。俺の時代。 あと、酒 ××

094 A : アメダマシトズ イッセンダモン。
飴玉一つ 一銭だもの。

095 B : ショージュー カセイシダ {笑} ホントニナ。
~~~~~ {笑} 本当にな。

096 A : カンガエラエネッチャ。 [6]  
考えられないよね。

097 B : コマズ、コマズ、(A ウン) ナ。ゴエンク° ライ モラ モラウワゲサ。  
コマズ、コマズ、(A うん) ね。五円ぐらい ×× もらうわけさ。

ダズンダナ、ヨーワ。アノー サゲ カイサイッテサ。サガヤデ アノー、  
駄賃だな、 要は。 あの、酒 買いに行つてさ。酒屋で あの、

マスデ ハガリデーッテ ウッテンダデバ。 コノドキノ、ホレ、タデバ、  
枡で 量りでて 売ってるんだよね。この時の、 ほら、例えば、

シー、コイズ、アノ、スコ° ビン モッテグンダデバ、 カラノヤズ。  
んー、これ、 あの、四合瓶 持っていくんだよね、空のやつ。

コッチャ アド イレデモラウノサ。ハンパ デルワゲサ。  
これに あと 入れてもらうのさ。半端[が] 出るわけさ。

098 A : ダズンズーノ オレ。  
駄賃っていうの[は] ほら。

099 B : ゴリ ゴリ  
×× ××

100 A : ネ、ウン。  
ね、うん。

101B : ウン コノオレ  
うん、このほら

102A : アー、アンチャッコ カッシテケダ (B       ) ガラナー、ホレ、  
ああ、お兄ちゃん 買ってきてくれた (B       ) からな、ほら、

ダズン ケッカラナーッテ。ホイッテ オレーオ ダスワゲ。  
駄賃[を] やるからねって。 そうして お礼を 出すわけ。

103B : ホマズツターモイッタナー。オレーダベナー。  
ホマズとも言ったなあ。 お礼だろうなあ。

104A : ウン。(B ン一) ダッテ オレーサ。(D ン一) ウン。アンチャ  
うん。(B うん) だって お礼さ。(D ン一) うん。お兄ちゃん

サミガッタベナ、コチャ コ コチャ コーッテ。コチャ シテ  
寒かっただろうね、こっちに 来い こっちに 来いって。こっちに 来て

アダレ アダレッテ。コチャッテ ソノ コッチニ キナサイツターコドネ。  
当たれ 当たれって。コチャって その こっちに 来なさいってということね。

ホデ アダレツーノ ホレ、アタタカグ、シナサイツターコドネ {笑}  
それで アダレっていうの ほら、温かく、 しなさいってということね {笑}

105C : エ、コマズッテ、ユーノモ ダチンノコト。コマズ、コマズ。  
え、コマズって、いうのも 駄賃のこと？ コマズ、コマズ？

106A : ウン、コマズデネンダ、ホマズッテ ズブンノコッタ  
うん、コマズじゃないんだ、ホマズって 自分の

107C : ホマズ。  
ホマズ？

108A : ウン。  
うん。

109C : ホマズ。  
ホマズ。

110A : ウン。へソクリノコト (B ホマズツツ、シー) ホマズツテユーンダヨ、  
うん。へソクリのこと (B ホマズって、うん) ホマズっていうんだよ、

(C アー) ヨッチノホーデ。(B シー) シー、ダズンツーノ、ホレ  
(C ああ) こっちのほうで。(B うん) うん、駄賃っていうの、ほら

アンチャー サゲ カッシテケダガラ ダズン ケッカラナッテ。  
お兄ちゃん 酒 買ってきてくれたから 駄賃[を] やるからねって。

サミドゴ イッテキタガラッテ。(C ウン) ホイズカ° オレ、  
寒いところ 行ってきたからって。(C うん) それが ほら、

アイッテ オレーダイッチャ。ハヤグイエバ、ウン。  
あれは お礼だよね。 早く言えば、うん。

111C : ンンンンンン。エ、ホマズツテユーンノワ  
うんうんうんうん。え、ホマズっていうのは

112A : ホマズツーノワ アンタ  
ホマズっていうのは あんた

113C : へソクリミタイナモノト。  
へソクリみたいなものと。

114A : へソグリ、へソグリ。  
へソクリ、へソクリ。

115C : シー。  
うん。

116A : シー。ンデ ユッチャ、イマデモ。シー、ホマツコ タメデオグッテ。  
うん。だから 言うじゃない、今でも。んー、ホマツコ 貯めておくって。

117C : フーン。

ふーん。

118A : ウン。ホデ ホレ、ガグノ カグイダドゴロサ

うん。それでほら、額の 隠れたところに

ミナ カッチャンダノ トッチャ カグシ カグシテオイデ。

みんな お母さんとか お父さん[が]××× 隠しておいて。

ホイテ ミッケダラ トラレダリナンカ スッチャ。

そうして 見つけたら 取られたりとか するじゃない？

119C : ンー。

ふーん。

120A : ウン、ホイナノ ホマズ。

うん、そんなの[が] ホマズ。

121C : エ、サッキノ、ソノー、オマツリノ ハナシナンデスケド。

え、さっきの、その、お祭りの 話なんですけど。

122A : ンー。

うん。

123C : エーット。ナ、ナマ、ナマゴヒキ。

ええっと。×、××、ナマゴヒキ？

124A : ナマゴシギツツーノ。 オショーカ° ズ スンノ。 (C ナマゴシギ)

ナマコ引きっていうの。お正月[に] するの。 (C ナマゴシギ)

125C : ソレワ、ドンナ。 ドンナコト ヤルンデスカ。

それは、どんな？ どんなこと やるんですか？

126A : アノー、ムスオ ヨゲンノ。ナマコ° オネ (C ウン) ナ ナワサ

あの、虫を よけるの。ナマコをね (C うん) × 縄に

女川町 自由会話

ユワエツケデ、(C オー) ホイッテ ウジノマワリオ コー マワンノ。  
結わえつけて、(C ほう) そうして うちの周りを こう 回るの。

ナ ナマ

× ナマ

127C : ユワエツケテ、(A シー) ソレオ ドースンデスカ。  
結わえつけて、(A うん) それを どうするんですか？

128A : コイズ、ナマゴ シイデ (C ヒイテ) グルット ウ ウジナガ マワンノ、  
これ、 ナマコ[を]引いて (C 引いて) ぐるっと × うちの中 回るの、

ウジノ ソド マ ソド マワンノ。

うちの 外 × 外 回るの。

129C : へー。

へえ。

130A : ナマゴシーギー オンドリダー ナーカ° ムース ヨーゲロツテ アンダ。  
「ナマコ引き お通りだ 長虫 よける」って あんた。

ナカ° ムスツテ ヘンビノコト。

ナガムシって 蛇のこと。

131C : シー。へ。

うんうんうん、へえ。

132A : ウン、ソーユーコドモ アッタノ。オームガスネ。

うん、そういうことも あったの。大昔ね。

133B : オナカ° ワデワ スネガモスンネゾ。 コノヒトワ ホレ

女川では しないかもしれないよ。この人は ほら

134A : オウラダモン。

尾浦だもん。

135 B : ハマダ。  
浜だ。

136 A : ウン。  
うん。

137 C : オウラ、ダケ、(A シー) カモシレナイ。  
尾浦、だけ、(A うん) かもしれない？

138 A : シー、シデモネーヨ。  
ん、そうでもないよ。

139 B : アッチノホデ ヤッチャーノゴ。  
あっちのほうで やってるのか？

140 A : シー。  
うん。

141 B : ト ト オ オナカ° ワ コノマズバデワ ホイナノ  
× × × 女川 この町場では そんなの

142 A : シ、オナカ° ワデワ スネサ。  
うん、女川では しないさ。

143 B : キガネーナ。  
聞かないね。

144 C : ハー。(A タブン、シー) (B ウン)  
はあ。(A たぶん、うん) (B うん)

145 A : コツカラ チョット ハナレデツカラ。  
ここから ちょっと 離れてるから。

146 C : フンフンフンフン。  
うんうんうんうん。

147B : シーシー、キリカ° サギー、タゲノウラ、オウラ、オンマエ、  
うんうん、桐ヶ崎、 竹浦、 尾浦、 御前[浜]、

(A アソゴラ スルンデネガナー) サスカ° ハマツツーノ、

(A あそこら するんじゃないかな) 指ヶ浜っていうの、

カグ ハマ アルワゲサ、コノヒトダジ。

各 浜 あるわけさ、この人たち。

148C : シーシーシーシー。(B シー)

うんうんうんうん。(B うん)

149A : ブラグネ。

部落ね。

150B : ウン、(C シー) ブラグ。

うん、(C うん) 部落。

151A : スズハズジュッケン。

7、80軒。

152C : ウン、ハイ。ウン。

うん、はい。うん。

153B : ウン。

うん。

154C : へー。 (A ウーン) ナマゴワ イッピキデスカ。

へえ。 (A うん) ナマコは 一匹ですか？

155A : ナマゴ イッピキ。

ナマコ 一匹。

156C : テニモツテ、ナワオ。

手に持って、縄を？

157A : マナナ ウン、ナワオ ナ、モッテ。  
××× うん、縄を ×、持って。

158C : ンー、モッテ。  
うん、持って。

159A : コノ ナマ、ナマゴ、コーヤッテ シツチャ。  
この ××、ナマゴ、こうやって するじゃない。

160C : ウン。  
うん。

161A : ホーデ コレ ユワイツケデ、コー ヒッパッテアルグノ。コーヤッテ  
それで これ 結わえつけて、こう 引っ張って歩くの。 こうやって

ヒッパッテイクノ。ナーマゴシーギ オンドリダー ナーカ° ムース  
引っ張っていくの。 「ナマゴ引き お通りだ 長虫

ヨーゲロツテネ。 ズブンノウジノ マワリオ アンタ アルグノ。  
よける」ってね。 自分のうちの 周りを あんた 歩くの。

162C : へー。  
へえ。

163A : ウン、ソーユーゴドモ アッタノネ。  
うん、そういうことも あったのね。

164C : ソレ、ショーガツ、オショーガツ  
それ、正月、 お正月

165A : ショーカ°ズ、ンー。  
正月、 うん。

166C : ガンタン。  
元旦？

女川町 自由会話

167B : ガンタンデネーヨ。 ナンニズガ スキ° デガラ ヤンデネァ。  
元旦じゃないよ。 何日か 過ぎてから やるんじゃない。

168C : ンー。  
ふーん。

169B : ウン、ヨーショーノコロダモン。  
うん、幼少のころだもん。

170C : ソレ、コドモカ° ヤルンデスカ。  
それ、子どもが やるんですか？

171B : ソーダヨ。  
そうだよ。

172C : オトナ、コドモガヤル。  
大人、子どもがやる？

173B : ウン。  
うん。

174C : アーーー。へー。ソレ、ドコノカテーデモ ヤルンデスカ。  
ああ。へえ。それ、どこの家庭でも やるんですか？

175B : ヤルヨ。  
やるよ。

176C : ハー。  
はあ。

177B : ンー、ヤッテヤモノ。  
うん、やっていたもの。

178C : フーーン。  
ふーん。

179B : ウン。

うん。

180C : オモシロイデスネー。

おもしろいですねえ。

宮城県牡鹿郡女川町方言会話集（自由会話）注記

〔1〕 ススフリ

獅子振り。獅子舞のこと。『女川町誌』（女川町誌編纂委員会編、1960年）によると女川地方の伝統行事であり、「正月初旬には春祈禱と称し獅子舞が各戸を巡る。」（p. 880）とある。

〔2〕 ナマゴシギ

ナマコ引き。話者らが語るように尾浦地区の正月の伝統行事である。以下、『女川町誌』（同上）から該当箇所を引用する。

十五日は十四日に作つて神棚にお供えしたはらみ木にて、神棚や門松などを打つて御祝い申上げ、暁に湯餅をあげて松納めと称し室内外の松や七五三飾りを一切納めてお送り申上げるのである。午後の四時頃になると夕食の前後に用いた水を住宅のまわり隈なくまき、それが終ると子供等はナマコを縄でくくり之を引きつつ「ナマコ引きのお通りだ長虫よけろ」と言つて三周する。三回まわり終るとそのナマコを海に流してやる。そして木刀を持ち果樹の前に立ちこの木刀を木に当て「なるかならねか、ならざら切つぞ」という、他の一人が「なりますなります」という、そして子供等の行事も終る。（p. 883）

〔3〕 オンドリダー

「お通りだ」。ドの音が鼻音化しているが、話者自身もこれは「お通りだ」と認識している。節にあわせてこのような音となったものか。

〔4〕 カラスボーイ

カラス追い。鳥追い。『女川町誌』（同上）によると、女川地方で行われている正月の伝統行事。以下、尾浦地区のものを引用する。

十六日は鳥追いをする。カラスが自分の家に止つて糞をすれば病人が出るというわけで、早朝神棚からハラミ木を持つて来て竹竿などを打ちならし、やへい紙を振つてカラスを寄せつけないようにする。（p. 883）

〔5〕 カシェンドリ

かせどり。『女川町誌』（同上）によると、尾浦地区の正月の伝統行事。以下、該当箇所を引用する。

十四日子供かせどりという行事がある。カチノキを七八寸の長さに二本揃える。これは子供かせどり用であるが別に木の箸を二本、火箸四本、ハラミ木は神様の

数だけ作つて神棚に供える。さてかせどりは夜になると、子供等がカキノ木の棒を拍子木のように打ち合せながら「カセドリカカカラカあすの晩は来ねから今夜ばりケテケラエ」と唱えて各戸をめぐり餅などを貰つて歩くのである。(p. 883)

〔6〕 061B、062A、071B、099A～107Aは特に調査者に向けて発話している。

〔7〕 テッカン

鉄管か。打ち込み式の井戸のことをこう呼ぶ。鉄管を地中に打ち込み、鉄管の上部に手押しポンプを取り付け、それを用いて水を汲み上げる仕組み。

〔8〕 ガチャガチャガッチャ

手押しポンプの取っ手を上下させるたびにガチャガチャという音がするので、手押しポンプを指してこう言っている。

〔9〕 ニショコ

二燭光か。ナツメ球のような電力の低い電球をこう呼ぶ。

**宮城県牡鹿郡女川町方言会話集（自由会話）担当者**

**収録担当者**      田附 敏尚（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）  
石山 理恵（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）  
冷        吟（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）

**文字化担当者**    田附 敏尚（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）  
石山 理恵（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）  
冷        吟（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）